

家庭学習の手引き(1・2年生用)

家庭学習のツボ

その1 予習で工夫して、復習に重点を

予習 あらかじめ教科書を読んで、新出漢字や英単語の練習をしたり、わからない語句を自分で調べておくようにしましょう。

復習 教科書やノート、ワークブックを使って、学習のポイントを整理しましょう。

その2 必ず見直しを

テストやワーク、教科書などの問題に取り組んでみましょう。わからないときには、わかるところまで戻ってやり直しましょう。わかるようになるまで、友達や先生に聞くことが大切です。

その3 時間と場所を決めてやろう

「何時からやる」と決めたら、すぐにその時間から始めましょう。毎回決まった場所でやるのも効果的です。

家庭学習の目安 1年生 90分 2年生 120分

5教科の家庭学習のポイント

教科	予習・復習のポイント
国語	{予習} まず、教科書を読みましょう。そしてあらすじをつかみます。知らない漢字や言葉の意味も調べておきましょう。日頃から本や新聞などで、「読む」習慣をつけておくことも大切です。
	{復習} 音読や漢字の練習をしましょう。ノートを見直したり、ワークブックや問題集に取り組んだりすると良いです。
社会	{予習} 事前に教科書を読んでおきましょう。重要語句は太字で記されているので、その語句の意味を調べておくのが良いでしょう。
	{復習} 地理 地名や地勢に関する用語をしっかりと覚えましょう。できるだけ用語と実物を結びつけたり、地域の特徴をつかむようにしましょう。
	歴史 時代の流れをつかむために、教科書を繰り返し読みましょう。時代ごとの特徴をまとめたり、人物名とその人物が行った事が一致するように覚えましょう。
数学	{予習} 教科書を読み、例題を教科書の解き方に沿ってやってみましょう。たとえよくわからなくてもいいです。授業で説明されます。
	{復習} 教科書やノートを見ながら、授業でやった問題をもう一度やり直し、同じような問題をワークブックや問題集を利用して練習しましょう。特に復習が大切なので、たくさんやるようにしましょう。
理科	{予習} 教科書に載っている興味のある写真などよく見ておきましょう。理科は身近な内容です。
	{復習} 教科書とノートに目を通し、学習内容が理解できたか確認しましょう。特に実験の操作等で注意することや器具の使い方などは整理しておきましょう。また、公式や計算問題は授業でやった問題をもう一度やり直し、同じような問題を解けるようにしておきましょう。重要語句は、漢字で書けるよう練習しましょう。
英語	{予習} 新しく出てきた英単語は、意味を調べてから練習しましょう。また、教科書の本文を写し、読む練習もしましょう。
	{復習} 学習してわかったことなどをノートに書き写しましょう。英単語は繰り返し練習して覚えましょう。また教科書やノートを見ながら、授業でやった問題をもう一度繰り返し、同じような問題をワークブックや問題集を利用して、解くようにしましょう。